

総論

満点	75点	目標得点	55点	試験時間	90分	偏差値	71
大問数	5	小問数	39				
【解答形式】		選択式	38/39問	記述式	0/39問	論述式	1/39問
【問題難易度】		C	3/39問	B	24/39問	A	12/39問
※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す							

Topics

- 1：大問5題中、読解問題4題、英作文（読解要素含む）1題。とにかく読解中心の問題構成
- 2：読解問題は、1センテンスが、そして文章全体が「長い」
 1センテンス 平均24 words（文学部I（C））、学校の教科書（平均10～15words）
 文章全体 2714 words（文学部09年度問題総語数）、学校の教科書（1Lesson平均600～800words）
 →文学部入試＝「90分で教科書3～4Lessonぶんを読む（センテンスは学校より長い）」作業
- 3：特徴的な問題はV。200語程度の英文を読み、「in your own words」（自分の言葉で）1センテンスの英文に要約するというもの。

こんな力が求められる！

長い英文を「正確に、スピーディに」読む能力が必要不可欠である。参考図書の欄にあげたサイトを活用し、毎日ひとつは記事を読むなどして、自分の勉強時間以外でもなるべく多くの量の英文にふれることを心がけよう。また、本学部ではマニアックな単語や熟語の知識を問う悪問、奇問の類はない。内容的に、そして文法的に「論理的に考える」ということを放棄しない姿勢で設問に取り組むことが必要である。「論理力をどう養成するか」は難しい問題だが、長文問題集を解く際に、迷った選択肢があれば△印をつけておくなどして、答え合わせの際に「自分はどこまでが理解できていて、どこからが理解できていなかったか」ということを明らかにわかるようなしくみを作ることが論理力養成の第一歩となる。

参考図書

「ワンセンテンスが長く、スピーディに読むことが求められる素材」としては、ニュース記事が最適である。以下にあげたような、ニュース配信を行っているサイトで、興味のある記事の速読の練習をしてみると良いだろう。

http://www.reuters.com/ ロイター（アメリカ版）
 http://www.japantimes.co.jp/ ジャパンタイムズ

大問別分析

【I】

予想配点	14 / 75 点	時間配分の目安	17 / 90 分 (A. 8分 B. 9分)
出題内容	長文 【Word数】(A)302語 (B)415語 【『でか単』『完熟』レベル】『でか単』『完熟』共にPART2 【長文テーマ】(A) cartoon(漫画)の起源 (B)「都市伝説」と「うわさ」の違い		

Benesse® お茶の水ゼミナール

〔長文内容〕 (A) 1800 年代に登場した cartoon は政治批判などの風刺の役割を果たした。
 (B) 「都市伝説」と「うわさ」は似ているが、「都市伝説」のほうが筋立てがしっかりしている、また「都市伝説」のほうが「うわさ」よりも寿命が長いという違いがある。

出題形式 空欄補充（選択）

小問別難易度 ※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す

1. A 2. B 3. A 4. B 5. B 6. B 7. C 8. A 9. B 10. B

11. A 12. B 13. B 14. B （予想配点：1 問 1 点）

お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連

O S レベル。ただし advanced クラスでもテキストの事項をマスターしていれば対応可能。

動詞の語法を問う問題（2, 5）に関しては冬期講習「語法完成ゼミ」で扱う。

選択肢の中で以下の熟語は「完熟」に掲載（最初の数字は設問番号、最後のカッコは『完熟』に掲載されている番号）。

6. associate A with B (1008)

8. at first hand (1062), as a matter of fact (0081), in the end (1197), to ~ extent (1216)

13. date back to ~ (0474)

●解答のポイント&学習対策等

全て空所補充問題。問題文の内容自体は平易であるが、「ワンセンテンスが長い」という本学部の特徴上、問われている空所に関し、「どこを手がかりに答えを出せばよいか」が見つげにくい。1 文 1 文の構造、特に修飾語句がどこからどこまでかを考え、英文を「大きく読んで」解答を出すことが求められる。また、

- ・ 2 は、空所の後ろの to と as から known が答えになる。

- ・ 5 は、空所の後ろに不定詞があることから、不定詞をとらない suggested, opposed は解答にならない。

など、語法の知識から答えが決まる場合が多い。読解重視の文学部だが、こういう形で文法・語法事項が問われる。必ず「内容と文法」の両面から選択肢を吟味する必要がある。設問の 12 では identify の用法が問われているが、identify A with B 「A と B を同一視する（B には名詞が来る）」だと早とちりする生徒は間違える。空所の後ろの現在分詞に留意してここでは identify A as B 「A を B だと見なす（B には分詞を置くことができる）」を思いうかべることができる生徒が正解できる。これも「内容と文法」の両面を問うた良問といえる。

【Ⅱ】

予想配点 25 / 75 点 **時間配分の目安** 28 / 90 分 (A. 5 分 B. 8 分 C. 15 分)

出題内容 長文

〔Word 数〕 (A) 202 語 (B) 315 語 (C) 573 語

〔『でか単』『完熟』レベル〕 『でか単』 PART 3 ((C) の語彙レベルが高いため) 『完熟』 PART 2

〔長文テーマ〕 (A) 音楽の楽しさ (B) 道徳観の発達の違い

(C) 古代の建造物や都市と天体の関係

〔長文内容〕 (A) 音楽の形は文化により異なり、また音楽の好みにも個人差があるが、音楽を楽しむ気持ちは人類普遍のものである。

(B) 人間の道徳は認識力の発達と共に育成される。

(C) 古代の建造物や都市は、天体の運行と密接なかかわりをもつ形で建造された。

出題形式 内容説明

小問別難易度 ※問題難易度：C 難問、B 合否を分ける問題、A 正答すべき問題、を示す

15. B 16. B 17. A 18. B 19. B 20. B 21. B 22. B 23. B 24. B

（予想配点：15～19 は各 2 点、20～24 は各 3 点）

お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連

O S レベル。ただし advanced クラスでもテキストの事項をマスターしていれば対応可能。

●解答のポイント&学習対策等

英文の問いに対して正しく答えている選択肢を選ぶ問題。問題(A)(B)は内容的には平易。本学部受験生であれば小手先の受験テクニックなど弄さずとも「読めばわかる」レベルである。この部分は問題の難易度よりむしろ「いかにして短時間で解くか」ということがポイントとなろう。問題(C)は語彙レベルも少し上がり、量も多く、解きづらいかもしれない。長い素材で内容を問われる問題は、うっかり読み進めていくと、「あれ？ この設問、さっき本文中に書いてあった部分が答えの気がするんだけど、どこに書いてあったっけ？」となりかねないので、本文を1パラグラフ読むごとに、設問をしてみる。23は「北京の街は、() ために丘や川の位置を変えることがあった」という設問だが、フィーリングで答えを出そうとすると、本文中で何度か触れられている(ように思えるが実はそんなことは書いてない)「天の動きを模す」という選択肢が魅力的に見える。だが、本文中の北京について述べてある部分をきちんと読解すると「エネルギーの流れをよくする」という選択肢が妥当だとわかる。とにかく本文中に解答の根拠を探すと作業を怠らないこと。

本問は1問1問はそこまで難しくないので、ほとんどがB(合否を分ける問題)という分類になっている。ただし、実際の受験の場ということを考えると、限られた時間内でこれだけの量を正確に読むという作業はかなりの「読解体力」を要するはずである。集中力が切れて凡ミス続き、ということのないようにしたい。この大問に関してはなるべく満点に近い点数をとっておきたい。

【Ⅲ】

予想配点 21 / 75 点	時間配分の目安 25 / 90 分
出題内容 長文 〔Word数〕594語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』共にPART2 〔長文テーマ〕女性論 〔長文内容〕「良き母親」という固定観念と、女性の労働について	
出題形式 文補充	
小問別難易度 ※問題難易度：C難問、B合否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 25. A 26. C 27. B 28. B 29. B 30. B 31. C (予想配点：1問3点)	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 OSレベル	

●解答のポイント&学習対策等

問題文中にある空所にあてはまる適切な文を選ぶ問題。7つの空所に対し選択肢は8個設けられている、選択肢に解答へのヒントになるような指示語などが少ない、また選択肢自体が長い、などの理由により、今年度の問題の中では最も解きにくさを感じる問題であろう。設問31は、問題文の最後にあてはまる文を選ばねばならないが、選択肢の中にいわゆる「結論」めいた文はない。他の選択肢と比較検討して、最もあてはまる可能性の高い「働く母親に関する研究は最近進んできたが、これからもさらなる研究が必要である」という趣旨のfを選ばねばならない。これも小手先のテクニックに走らず、ひたすら選択肢の吟味が必要な、「論理力」を試す問題である。

【Ⅳ】

予想配点 7 / 75 点	時間配分の目安 10 / 90 分
出題内容 会話文 〔Word数〕168語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』共にPART2	

Benesse® お茶の水ゼミナール

〔長文テーマ〕 大学生活 〔長文内容〕 大学生活についての大学生二人の会話
出題形式 空欄補充（選択）
小問別難易度 ※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す 32. A 33. A 34. A 35. B 36. A 37. A 38. A（予想配点：1問1点）
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 OSレベル。ただし advanced クラスでもテキストの事項をマスターしていれば対応可能。

●解答のポイント&学習対策等

会話問題。選択肢には not due until, could squeeze in, tough getting things など、いかにも「会話表現」っぽいものが並ぶが、この問題はそのような会話表現の知識を問う問題ではない。会話問題という形で文法事項を問うているのである。34は空所の直前に the があることから、名詞が入ることが予想でき、選択肢中唯一の名詞である same old things が入る。また、37は直後に名詞（＝目的語）があることから、could squeeze in が入る。(e) have a date や、(k) up to me などは意味的に入りそうではあるが、これらの選択肢は構造上さらに名詞を続けることはできない。このように、文学部の会話問題は、文法力が試されているのである。ここでも「フィーリングではなく、構造から解答を導き出す」という論理力が問われている。

【V】

予想配点 9 / 75 点	時間配分の目安 10 / 90 分
出題内容 長文、英作文 〔Word 数〕 144 語 〔『でか単』『完熟』レベル〕『でか単』『完熟』共に PART 2 〔長文テーマ〕 会話の技術 〔長文内容〕 会話の技術のうまさは先天的な才能ではなく、努力によって改善できるものである。	
出題形式 要約英作	
小問別難易度 ※問題難易度：C難問、B可否を分ける問題、A正答すべき問題、を示す B	
お茶ゼミカリキュラム・テキストとの関連 OSレベル	

●解答のポイント&学習対策等

本学部と文化構想学部に特有の英作文問題。200語程度の英文を読み、“in your own words”（自分の言葉で）1センテンスの英文に要約するというもの。「読解力重視」本学部らしい、読解に比重を置いた英作文であり、速読力+要旨把握の力+英作文の力が試される。本学部と文化構想学部を除いてこの形式の問題は存在しないので、過去問を用いた対策が必要である。時間配分としては、読解3～5分、英作文5～7分であろう。作文自体は1センテンスなので、「何をどう書くか」が決まればその後はほとんど時間はかからない。

今年度の問題を例にとると、1文目の although 節（～だけれども）は譲歩の部分、3文目の Just think から始まる一文は具体例、ということで要約文に書く必要はない。このような作業を行い「書かねばならない部分」を抽出→その部分を要約、という手順を踏むようにしたい。問題文には「in your own words」とあるので、本文の単語をそのまま用い、本文そのままの文法構造で書いてはならない。言い換えられる単語、表現は自分でパラフレーズし、使う文法構造も本文とは変えて書かねばならない。